

## ◆ 11月9日（水） 本校の今後の方向性の提示

10月に実施した教職員満足度調査の結果や11月2日の学校経営品質アセスメント、昼の職員打ち合わせ時の意見等を踏まえ、この日の職員会議で校長から、直面する課題に対して、①生徒が安心して楽しく学べる学校づくりと②必要な情報を共有できる仕組みづくりについての方向性の提示がありました。その内容を受けて、7名の教職員から意見が出され、議論が交わされました。本校は、目指す学校像の一つに「学びたい人が学びたいときに学びたいスタイルで学べる」ことを掲げています。開校6年目にして、在籍生徒数の増加に伴い、今後どうしていくとよいのかという本校の根幹に関わる場所での議論を引き続き、行っていくことになりました。一方で、次年度に向けた業務改善に関してはチーム会議や部会議等で議論を行い、具体的改善策を検討していきます。

## 【議論の趣旨】

「支援」と「指導」の狭間で揺れて、生徒にどうアプローチしていくかを迷う。生徒のことを第一に考えて、その場の最善であろう道を探る毎日であるが、生徒の課題が複雑化かつ深刻化している現状においては、「今後の方向性」が現場の状況に見合ったものであることを望む。

「支援」ということだけにとどまっていたよというのなら現状のままでよいかもしいが、社会的自立につながる「支援」にしていかないといけないと考えている。生徒一人ひとりを見ようとするがあまりに「温かさ」ばかりが前面に出て、「厳しさ」がなく、社会的自立を考えた場合に、かえって生徒の人的な成長を遅らせてしまうということにもなりかねないのではないか。

ここでの議論は、北星高校が今後どうあるべきかを考えての発言である。直面している学校課題を克服するため、今こそ教職員が一丸となっていくことが望ましいと考える。学校の根幹に関わった議論を今後も継続していく必要があると思う。

生徒一人ひとりを重んじることと集団の規律は、そのどちらかに偏るのではなく、バランスが大事だと思う。在籍生徒数が開校当初より大幅に増加した現状においては、集団の規律をより意識していかないといけない。そうでないと、結果として一人ひとりのことを大事にできないことになる。

開校6年目にして学校規模も大きくなり、本校の学習システムを今一度見直す時期に来ていると思う。かつてのような学校規模ならば可能だったかもしれないことが今では難しくなって、規模が大きくなり過ぎたとさえ感じる。本校ならではの「真摯で温かな関わり」を大事にしながら、学習システムを再考するべきではないかというのが、日々生徒を前にしての実感である。

実情から考えれば、一人ひとりの生徒に合わせた「支援」を大事にしているので、「できる限り、できる範囲で、できる状況で行う」ということになる。しかし、それでは教職員個々によって取組の温度差が生じるので、「方向性」を明確にして、「支援」の質を高めていくことが大切である。



企画委員会での議論



職員会議で今後の方向性の提示



チーム会議や部会議等での議論

## ◆ 11月9日（水） 第3回授業公開（定時制）

年間6回の授業公開のうち、この日は水曜日の授業を公開しました。授業公開は、よりよい授業のあり方を模索し実現するために、保護者や地域の関係機関から広く意見や助言を求めようとするものです。このことによって、生徒の学びの成果を把握し、「学びに向かう力」の育成とともに、指導内容や指導方法のいっそうの改善を目指しています。授業公開日には関係機関の教職員や本校への入学を希望する中学生や保護者も訪れます。次回は11月28日に月曜日の授業を公開します。



机間巡視で生徒への声かけ



実習での一人ひとりへのフォロー



中学校関係者への学校案内

## ◆ 11月13日（日） 通信制・LHR

通信制は年間にLHRの時間が11回設定されています。あらかじめ行う内容が決められているLHRと、独自の内容を各教室で行うことができるLHRがあります。今回は後者でした。10月28日に定時制で実施した「キャリア教育」の内容と重ね合わせ、折り鶴を折ることや、10月末に実施した人権LHRでの生徒の感想にあった「トリックアートが楽しかった」という声を受けて、教材を用意してLHRが企画されました。本校2年目になる22学年（22年度入学生）の教室を中心に3教室で行われました。この活動を通して、登校機会の少ない通信制の生徒たちにとって、LHRの時間が緩やかな人間関係づくりの場になればよいというねらいで実施されました。

### 【参加者の感想（一部）】

- ✚ トリックアートがおもしろかったです。鶴を折るのは何年ぶりかでした。すごく楽しかったです。
- ✚ 最初は、なぜ鶴を折るのか、このことをしてどんな意味があるのか理解できませんでしたが、後で絵を見たり、じゃんけんをしたりして、普段は考えないことを考えることができました。
- ✚ じゃんけんをすると、ついつい勝とうとしてしまっている自分に気づかされました。トリックアートは見方を変えてみると、見えてくる物が変わってくるところがおもしろかった。
- ✚ 物の見方や考え方について、考えさせられました。もっと思いやりを大切にしようと思いました。
- ✚ トリックアートは視点を変えることで、いろいろな物が見えてくると思いました。「人によっていろいろな見方や考え方があること」を理解している人と接すれば、もっとわかり合えると思いました。
- ✚ 私自身は、ちょうどタイムリーに価値観のちがいについて悩んでいました。もう一度、今日の授業をふりかえてみて、悩んでいることについて考えてみたいと思います。
- ✚ 今日は、人権について考えることができました。講師の先生が話す講演とはちがい、一緒に活動しながら身近なところから考えることができました。先生たちの話が心に、ずっと入ってきました。



トリックアートを楽しむ生徒



後出しじゃんけんをする生徒



誰かに贈るための鶴を折る生徒